

福居

vol.113



- ・ 会長挨拶 2
- ・ YEG活動報告 3
- ・ 特集 ～2月会員大会ふくい大会～... 11
- ・ 卒業生の言葉 15
- ・ 平成24年度を振り返って 17
- ・ 次年度抱負 19
- ・ 新入会員紹介 22
- ・ おめでた&結婚報告/西木田通信 ... 24

<http://www.fcci.or.jp/fyeg/>

「無理ではないか…」
 委員会メンバーの誰の頭にもその言葉が浮かんだのではないのでしょうか。しかし、時間を節約しようとするところを削り工面してデイスカッション時間を延ばし、一つでも実のある物を掘り出せるよう事前のアンケート以外でもいろいろな人に意見を伺いながら当日開催にこぎ着けまし



4月定期総会に引き続き、一生のつながり作り委員会の4月度例会を開催しました。「YEG活動に活かせるみんなのつながりを発掘する」手法はデイスカッションで、みんなの意見を集めて新しい何かを作り出したいと考えました。ここまでは割と早い段階で決まったのですが、ここからが大変。例会時間が1時間という短い時間の中、いかにしてみんなの意見から新しい物事を創造するか。時間を計算したらデイスカッションに使える時間はたったの18分…。



4月定期総会は、福井YEG前年度の事業報告ならびに収支決算、次年度の「組織」「方針」「予算」が決定する重要な会議です。会員の皆さんも早めに受付を済ませ、定期総会資料を確認していただきました。青年部の歌「伸びゆく大地」を斉唱、綱領朗読・指針唱和が終わり、平成24年度高木会長より挨拶が行われました。会長はこれから、いろいろな場で挨拶をするので大変です。続いて地域振興部部長の坂下泰久様と地域事業課課長の吉田裕晃様より挨拶いただきました。福井YEGと親会は密接な関係で今後もお世話になるかと思っております。次に新入会員の紹介と高木会長からの青年部バッジの授与が行われました。今後のYEGを創る新入会員のみなさん、これから青年経済人として一緒に歩んでいきましょう。

4月定期総会・例会

4月7日(土)、地域つなげる委員会担当のまち歩き「歩くざぶくい」足羽川・足羽山 桜と歴史めぐり」を開催しました。
 足羽河原には人っ子一人見当たらず、桜は未だ咲かずに堅そうなお花をつけたまま。「マズイことになったなあ」と募る不安をぬぐいきれず、重い気持ちで設営に取りかかっています。平成24年度最初の事業となった春まつり事業、まち歩き「歩くざぶくい」足羽川・足羽山 歴史と桜めぐり」ならびに桜クラフト工房。



まち歩きは足羽川から足羽山までの間、桜を愛でつつ、ガイドの歴史説明のもと近隣の商店や寺社に立ち寄りつつ、内容が充実。桜クラフト工房は、足羽川の桜の歴史、福井YEGがこれまでに行なってきた桜の保全活動を展示しつつ、桜の倒木を用いた鉛筆や置物などを作るといった趣きで行なわれました。

まち歩き「歩くざぶくい」春

5月度例会では、強いリーダーに成長するための研修を開催させて頂きました。実践研修①では、口頭のみで、情報を収集、分析し、どうしたら良いかを学びました。実践研修②の方は、言葉を使わずに、配布された指示書に従い、情報を交換する時には筆談です。言葉を使えないコミュニケーションの難しさを改めて感じて頂けたのではないのでしょうか。又、グループで



5月度例会では、強いリーダーに成長するための研修を開催させて頂きました。実践研修①では、口頭のみで、情報を収集、分析し、どうしたら良いかを学びました。実践研修②の方は、言葉を使わずに、配布された指示書に従い、情報を交換する時には筆談です。言葉を使えないコミュニケーションの難しさを改めて感じて頂けたのではないのでしょうか。又、グループで

5月度例会 伝達力をまなぶ



た。当日は総会も10分押し、当委員会企画している二次会も控えているなか時間の超過は許されませんでした。予定外の事もありながら全員のご協力をいただきなんと65分で例会を終了する事が出来ました。すべてが終了し皆さんに意見を伺うと、そろって、「時間が無すぎた」という声をいただきました。この例会は一つの「きっかけ」となる事を願い作っていただきました。デイスカッションを通して少しでも感じていただけたならば、このYEGという団体の中で今はまだ見えない皆さんの「つながり」が今後芽生え、大きく育ちますよう心より願っております。



心配していたまち歩き参加者のキャンセルも無く、むしろ当日の飛び入り参加により予定を大きく上回る参加人数となりました。クラフトについても、NHKのニュースで取り上げられ、寝起きのまま(笑)インタビューを受けたわたくし佐々木が映ったにも関わらず、テレビを見た方々が足を運んで下さり、差し入れを持ってきてくれた方もおられたそうです。事前準備はやはり大変ですが、「やってみるとやっぱり面白いわ」と心から感じられるのがこういう対外的な事業の醍醐味ではないでしょうか。みんなと一緒に汗をかかなければ共有できない思いだと思います。



人とつながり 明日をつくる

～活かせ出会いのチャンス！ 企業と地域の活力は人のつながりから～



福井商工会議所青年部 平成24年度会長 高木 秀樹

平成24年度は「人とつながり 明日をつくる～活かせ出会いのチャンス！企業と地域の活力は人のつながりから～」をスローガンに様々な活動をしてきました。今年度は近畿ブロック若狭小浜大会や会員大会ふくい大会など多くのYEGメンバーと関わる機会がありました。そのチャンスをしっかりと生かし県連メンバーとのつながり、福井YEGメンバー同士のつながりが深まったことは非常うれしいことです。また、日本YEGにおいても出向メンバーの活躍と各事業に参加頂いたメンバーのおかげで非常に強いつながりができました。本当にありがとうございました。



人は、自分自身でどんなに磨いても限界がある。しかし、人は、他人とのちょっとした出逢いで、一瞬にして変わる。『人は人でしか、磨けない。』今年度培ったつながりを大切にしながらさらに広げ深めてゆくことで、今後も自企業の発展、自分自身の成長、そして地域の発展へとつなげてゆきましょう。非常に充実した一年をありがとうございました。



かと思われず。
労働士座談会にて、強いリーダーになるための秘訣
などを、企業を支援する立場の4人の会員（今井順也
君、北出慎吾君、松田将裕君、中村まゆみ君）からた
くさんのアドバイスを頂きました。
今回、学びました力を会社の発展と、リーダーとし
ての資質向上につなぐことができればと思います。
【記事担当：岡山宇太郎】

県連・代議員総会に
参加しました

代議員総会とは各単会の委員
長以上の会員が、年度をまたぐ
際に福井県商工会議所青年部連
合会（通称、県連）のスローガ
ン・基本方針・運営方針・事業
計画を審議する会議。

研修会では「事業継承と今
後の展望」をテーマとして、
地（福井）を目標としてと題し、
講師に（株）フクイカメラサー
ビス 代表取締役 高山陽一氏
をお招きして講演していただきました。

高山氏は平成18年、38歳の時に代表取締役社長に就
任し、持ち前の笑顔と才能・手腕を発揮され家族5人
の会社を従業員35人、年商約7倍まで伸ばし、国内
トップクラスの売上げを誇るデジタルカメラ修理サー
ビス企業に成長させた社長。配られた会社パンフレッ
トを拝見したところ固定観念にとらわれない、若い世
代を中心に笑顔をもって会社一
丸となつて仕事に取り組む様子が
伺われました。
こんな素晴らしい社長が福井
の身近で同年代に居ることに驚
きました。高山社長のご家族
も素晴らしい方なのだろうと感
じました。懇親会では10月に小
浜で開催される近畿ブロック大
会と2月に福井YEGが主管の
会員大会のPRが行われました



7月30日（土）ニューサンピア教賀・金ヶ崎緑地周
辺に於いて、教賀YEG主管の県連三地区研修交流会
が開催されました。

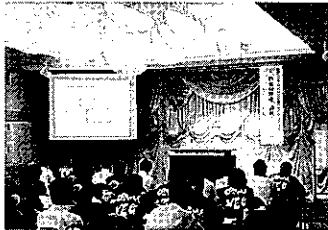
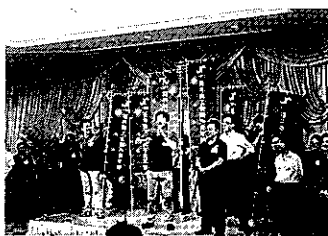
県連 三地区交流会

県連倉内会長と教賀YEG赤
尾会長の挨拶から始まり、10時
からは講演会。講演者の気比史
学会会長穂谷好晃様より「悠久
の歴史/教賀1300年」と
題し教賀の歴史の特性を、
300年の歴史を踏まえて紹介
がありました。1,300年の
歴史を約1時間で説明するの
で端折ることとなりましたが、
古墳銀座と呼ばれた多くの前方後
円墳があり、金メッキされた甲
と帽子が出土した大変珍しい土
地・現在の嶺北地方と教賀と能
登、加賀が一体となった国が大
宝律令（701年）の下で越前
とよばれ越前とは「こしのみち
くに」であり教賀は表玄関なの
で「口越前」とも呼ばれた。教
賀は元々、角鹿と呼ばれ713
年（和銅6年）に「畿内7道の
諸国郡郷の名は好字を著（一）



た。特に近畿ブロック大会は小浜が主管なので約1,
300人の近畿ブロック会員が小浜市に訪れる大会で
す。それだけに小浜YEGだけでは運営が厳しく、福
井県の単会会員が協力しなければなりません。
倉内県連会長の言葉「結合」を念頭に大会成功に向け
て協力していきましょう。今年代議員になり県連との
「つながり」も増え福井YEGから一歩飛び出した気
がします。さらに県連の上には日本YEGがあります。
高木会長のスローガンである様々な「つながり」が自
分を成長させてくれること信じ、福井YEGとともに
一歩ずつ歩んでまいります。【記事担当：岡山宇太
郎】

交流会では各テーブルに福井・教賀・小浜YEGが
入り混じつての交流です。福井YEGは2月の会員大
会に向けて各テーブルへ名刺交換をしてPRするよう
松井実行委員長より伝令が出ているので、挨拶回りを
たくさんしました。いなくなつたバスも戻つており福
井YEGを乗せ17時に福井駅東口に無事到着しまし
た。東の間でしたが、教賀の歴史も勉強できてより福
井県人として教養が高まった気がします。福井YEG
のみなさん、大変お疲れ様でした。【記事担当：岡山
宇太郎】



えきまえアントレ・キッズ
2012

28日（土）、まちづくり福井（株）さんとの共催で
「えきまえアントレ・キッズ2012」を開催しまし
た。小学5・6年生220名が中心市街地にある実店
舗やYEGメンバー企業ブースでお仕事を探検しま
した。

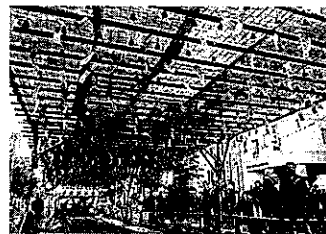
今年YEG企業5社を合
む29企業で実施され、対象を
5,6年生に絞つたにもかかわ
らず300人を超える応募を頂
き改めて人気の高さを実感しま
した。担当副委員長として初め
て実施する対外事業で、不安と
期待が入り混じつた状態で当日
の開会式をむかえましたが、ま
ちづくり福井（株）谷崎さんの



8月4日（土）、8月度例会として第59回フェニッ
クス祭りに参画しました。片町青年会さんとの協働の
商店巡り、子供達から届いた短冊で彩る風鈴プロジェ
クトや縁日空間で祭りを盛り上げました。

8月度例会 フェニックス祭り

軽快な司会進行に始まり、福田
副委員長のビジネスマナー講師
も最高で、グッと子供たちの心
を掴み、また、緊張を和らげる
素晴らしい内容だったと思いま
す。その後、子供たちは体験す
る企業へ。西武福井さんや、マ
クドナルドさんでは専用の衣装
に着替えての体験。えげぜん鉄
道さんや京福バスさんでは実
際に場内アナウンスを行うな
ど、緊張しながらも貴重な体験
ができたのではないかと思います。
YEG企業ブースにおいても、
数百万する溶接機を用いた
り、本物のパフウエを使用する
んだり、プロが使用する道具
やパーツを持ち込むことで子供
たちも興味深く聞き入り、体験
しておりました。今回5回目
を迎えた「えきまえアントレ・
キッズ」ですが、駅前周辺のお
店や企業様の協力を得て毎回ス
テップアップしているように感
じます。また、YEGメンバー
もこの事業を通して、駅前周辺
の活性化と子供たちの将来の仕
事を描くお手伝いができたので
はないかと感じます。
次年度以降も継続して開催し
たいですね。未来へつないでい
きましょう！
【記事担当：丸木治男】



今年も、順化エリアのお店を巡りながら歴史に触れ
る「どまんなかまち歩き」、子どもたちを中心に人々
の願いをこめた短冊を風鈴につけて展示する「風鈴プ
ロジェクト」、フェニックスまつり会場に賑わいと滞
留の場を演出する「縁日広場」と内容は盛りだくさん。
「どまんなかまち歩き」では、片町青年会さんとの協
働で、老舗の魅力堪能コース、こだわり珈琲店美味巡
り、片町界隈プロの技巡りの3コースで開催しました。
順化エリアという夜の街のイメージですが、実は伝
統と文化の根付く個性的なお店もたくさんあるんだと
いうことを参加者に伝えまし
た。
「風鈴プロジェクト」では、風
鈴ロードを昨年よりもさらに全
長を延長するということで、竹
内君率いる職人軍団とYEGメ
ンバー総出で取り組みました。
昨年もそうでしたが、炎天下の
下、設営が終わる頃には、すで
にメンバーはグッタリしていま
したね（汗）しかし、出来上
がった「風鈴ロード」はやはり
圧巻です。鳴り止まない鈴の音
色、せせらぎのようにはためく
短冊、すだれとミストシャワー
による涼の演出。併設の休憩所
兼観客席（畳のベンチに氷柱の
演出）と併せ、終日人で賑わっ
ていました。「縁日広場」では、
風物詩となりつつある「巨大ス
マートボール」「ボールすくい」
「射的」の各ブースで来場者を

けよ」との法令発布により角鹿
↓教賀に変更されたとのことで
す。そして来年2013年は教
賀と名づけられて1,300年
が経つ記念すべき年です。
続いて金ヶ崎緑地施設見学会
です。金ヶ崎まではバスで移動
ですが、なんと福井YEGのバ
スは鯖江に帰ってしまいい、ど
うすればいいか途方に暮れてしま
う大失態！なんとか教賀YEG
の計らいでサンピア教賀のバス
を使わせていただき事無きを得
ました。いつもながらスミマセ
ン！
何とかバスで金ヶ崎に到着。
下記の3施設が金ヶ崎に徒歩2
〜3分の位置にあります。



迎えました。今年も新たに楽しみ抽選会を催しまし
たが、その中の駄菓子のかみどりが好評だったよう
です。高木会長の挨拶どおり、例年以上に身近なこ
ろでフェニックスまつりに触れ、そして肌で感じた事
業でした。やってみなきゃわからないこと、そしてそ
こから感じて見えてくること。1人1人の意見や考え
が次の事業への糧になると思います。

【記事担当：佐々木俊一】

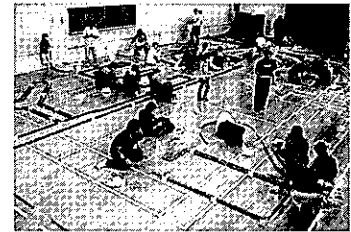
9月度例会「一生のつながり作り」

30日(日)、10時から福井市少年自然の家にて
一生のつながり作り委員会の9月度例会を開催しまし
た。

4月例会とは違い、新入会員がどんな事をすればい
いか分からない所からのスタート。委員会を重ねてい
く毎に一人一人が意見を話し合うようになり、委員会
メンバーの想いが沢山詰まった例会となりました。

ドミノは並べていく内にあち
ちからでカタカタカタと倒し
てしまつた音が聞こえたり、子
供達がドミノの周りを走り回り
ハラハラしたりとありましたが
無事完成！いよいよドミノを倒
す時！高木会長の手からボール
が転がり、一つめのドミノが倒
れると歓声が上がります、自分達が
作った文字が綺麗に倒れる度に
歓声が上がります、最後の火花が倒
れ、クラッカーを鳴らした瞬間、
感動が込み上げました。

台風が近づく生憎の天候とな
りましたが、趣味の家に会場を
移し行われた韓国料理とBBQ
は、参加者で暗号化されたレシ
ジを見ながら苦戦しながらも美
味しい料理が出来上がり、宮本
直前の乾杯の挨拶で飲食がス
タートしました。



長と天野委員長へ誕生日プレゼント
ントを渡し、こちらも喜んで頂
けたと思います。片付けまでが
例会ということで、参加者みん
なで綺麗にし例会終了となりま
した。

【記事担当：川端勇大】

新入会員 オリエンテーション

19日(水)、福井商工会議所ビル8階プロ
ンにおいて、新入会員オリエンテーションを開催。今年度
新入会員ならびに昨年度新入会員で未受講者が対象。
役員メンバーと共に事業の歩みや委員会説明、県連・
日本YEG、規約について各担当から説明を受けまし
た。

前半では役員メンバーよりこれまでのYEG事業の
歩みや委員会説明、県連・日本YEG、規約について
各担当から説明を受けました。

後半は食事を取りながら各テーブルで懇親を図り、
新入会員が前に出てそれぞれの事業所PRや趣味の話
など、1人2分程度のスピーチを行いました。



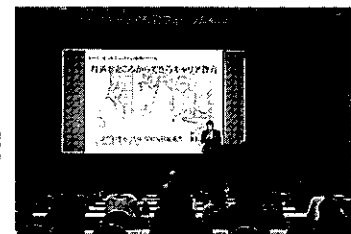
それ話が上手く、爆笑を誘う話も多数ありました。そ
の後、前半で話したYEG知識の確認もかねてYEG
クイズを行い、新入会員に計10問の4択問題を答えて
もらいました。上位入賞者には、メンバーの事業所よ
り豪華賞品が授与され、司会の室田君の絶妙なアドリ
ブもあって会場は大いに盛り上がりました。本日に個
性とやる気のある新入会員が多く、これからのYEG
の中心となっていくメンバーばかりですので役員一同
もとても頼もしく感じたことと思います。

【記事担当：今井順也】

ふくいキャリア教育

平成24年10月28日(日)に自治会館において「ふ
くいキャリア教育フォーラム2012」を開催致しまし
た。6つの団体から構成されていた実行委員会の
メンバーの一員として福井YEGは企画、運営をさせ
て頂きました。思い起こせば、菊実行委員長を中心に
準備会議や実行委員会等々の打
ち合わせを何回も積み重ねてき
ました。その集大成が28日で終
わつてしまつたという達成感と
同時にもう少しこうすれば良
かつたという気持ちも今でも
残っております。

さて、当日を振り返ってみま
すと、文部科学省の長田徹氏の
基調講演から始まり、「身近な
ところから実践できるキャリア
教育」をテーマに、出身地であ
る宮城県東日本大震災直後の
様子も交えながら講演して頂き
ました。その後、実践事例報告
として福井YEGの「アントレ
キッズ事業」、福井JCの「ふ
くい人育成プログラム」地域の
担い手づくりプログラム、福
井商業高校の「商品開発を通じ
てのキャリア教育の取組報告」
の3つをそれぞれ報告して頂き



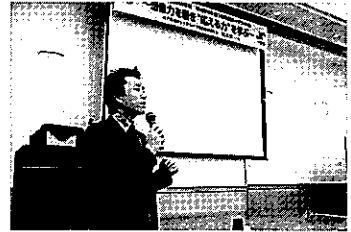
ました。続きまして、パネ
ル
デ
ィ
ス
カ
ッ
シ
ョ
ン
で
は
講
演
し
て
頂
い
た
長
田
氏
の
他
に、金沢工業
大
学
虎
ノ
門
大
学
院
主
任
教
授
の
三
谷
宏
治
氏、福井経済同友会の小
川
明
彦
氏、春山小学校の女性P
T
A
役
員
の
宮
下
加
寿
代
氏
の
4
名
の
パ
ネ
ラ
ー
と
コ
ー
デ
ィ
ネ
ー
タ
ー
と
し
て
菊
実
行
委
員
長
に
進
行
し
て
頂
き
ま
し
た。最後、「決める
力」プログラムというこ
で、グループになってサバイバルゲームを行いました。そ
の中
で
特
に
グ
ル
ー
プ
内
で
の
意
思
疎
通
と
決
断
力
の
重
要
性
を
学
び
ま
し
た。終わつた後、もつと多くの方に聴きに
きて欲しかったということが一番の課題だと考えてお
りますので、次回の時には広く伝えて頂きたいです。
私自身も伝えようと思います。最後に「ふくいキャリ
ア教育フォーラム2012」に関わつてくださった皆
様
に
対
し
ま
し
て、改
め
ま
し
て
あ
り
が
と
う
ご
さ
い
ま
し
た。
【記事担当：朝田 健一】

10月度例会 オープン例会

24日(水)、19時から福井商工会議所に於いてビジ
ネスつながり委員会10月度例会(オープン例会)を開
催しました。

オープン例会としてYEGメンバー以外からも多数
参加いただいた今例会。「想像力を磨き、応える力」
を学ぶ」をテーマに(株)ジェイグループ代表取締役
社長松本賢一氏にご講演いただき
ました。

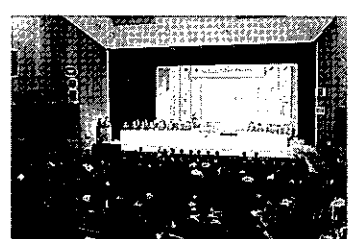
普段とは違う雰囲気がある中、
中、颯爽と登場した松本講師。
話し始めると心地よいテンポで
話される関西弁に取り込まれ
まるで落語の寄席を聞いている
ような気分になりました。(プ
ロフィールにアマチュア落語家
と書いてありました。)笑
講演は、いきなり席替え、そ



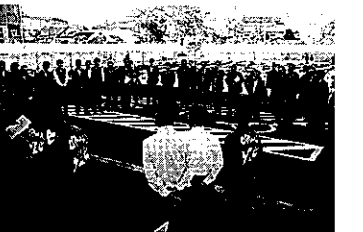
13日(土)、小浜市で開催された第30回近畿プロッ
ク大会若狭小浜大会に参加しました。
小浜YEGが主催するので福井YEGは約20名がお
手伝いすることになっており、約30名が一般参加し
ました。
物産展の食のスペースでは福井の各地域の美味しい
食が食べられることもあり、出店者は見込んだ人数分
の仕込みをしてました。
米村実行委員長から福井YEGお手伝い係へ説明会
があり、各自の担当場所へ行くこととなりました。主
催者代表挨拶では日本商工会議所会頭、日本商工会議
所青年部会長、小浜YEGに所属する近畿ブロック代
表の中野貴之君からありました。式典が終わると次は
記念講演。テーマは「日本の政治と経済の狭間(こじ

第30回近畿ブロック大会

してペアを組んで「最近大笑い
した話」を言い合うことから始
まり、次に「紙芝居」と一風変
わつた感じで進んでいきます。
さすが「平成21年 創業者人材育
成事業受講者満足度調査全国1
位」のご講演、講演嫌いの私が、
最初から最後までずっと引き込
まれっぱなしで、とても参考に
なるお話をしました。
「お客様のニーズに、解りや
すい言葉で的確に伝える」
まさに、この講演がこの言葉
の実践で、私たち出席者の「セ
ンtralクエスチョン」に
内容に思えました。「考える
力」「伝える力」そして「行動
を起こす力」すべてが整つて、
初めて成功がある。早速、私も
始めて見よう!!
まずは、妻の「セントラル
クエスチョン」から探してみま
す。 【記事担当：八木寛



亭から三味線の音が聞こえ、まるで祇園の界限を歩いている錯覚を覚えます。NHKの「ちりとてちん」の撮影にも使われた小浜を代表する名所でもありません。コースのゴールが海辺にある小浜公園で待機していたバスに乗り大懇親会場へ向かいまし



【記事担当：岡山宇太郎】

雨の場合の心配もあつたでしょうが好天に恵まれ参加者も続々と集まって来ました。料理は小浜らしい小浜しかない海の幸をふんだんに使った料理ばかりでどれを食べても美味しく驚きました。美味しい料理をしっかりと堪能しまして、あつという間に時間が過ぎ閉会となりました。一年半に及ぶ準備で、小浜らしい大会とおもてなしの心が伝わり感動しました。スローガンにもある「わかさで研ぎ出せYEGの千・財・能・力」を生かせば、こんな素晴らしい大会ができるのかと感動・驚き・敬意を感じました。



【記事担当：岡山宇太郎】

11月度例会

まち歩きフォーラム

11月4日(土) 福井商工会議所ビルにおいて地域活性化委員会の11月度例会「まち歩きフォーラム」を開催しました。福井YEGでは平成21年より、他団体との「協働」をテーマにまち歩き事業を行ってきました。今回の例会では、さらなる「協働」のステップとして、まち歩き事業を行っている他団体「片町青年会」「語り部の会」「福井観光コンベンションビューロー」「福大EMP」「まちづくり福井」の方々にも参加して頂き、これまでの各団体のまち歩き事業の発表を行って頂きました。当青年部からは、佐々木委員長が発表を行い、これまで行ってきたまち歩き目的や、その

まち歩き「歩くをめぐって」秋

3日(土)、地域つなげる委員会の、まち歩き「歩くをめぐって」2012年秋版(駅東エリア)を開催しました。今回のまち歩きは地元の旭小学生児童にまち歩きガイドをお願いするという初の試みに挑戦。募集の結果、総勢8名の児童に参加してもらい大変賑やかなまち歩きとなりました。

この日は生憎の小雨模様でしたが、殆どキャンセルもなく参加者は旭公民館に集合。開催にあたって初めに佐々木委員長から参加者へ趣旨説明が行われ、その後、高木会長からの挨拶、共催者である旭公民館館長からの挨拶が行われ、まち歩きガイドに参加してくれた旭小学校児童の自己紹介が行われました。午前は北口君、午後は畑君がメインガイドに初挑戦。立ち寄り先の商店では店主から商品などの説明が行われ、道中では初挑戦とは思えない北口君や畑君のガイドにより参加者は駅東エリアの魅力を見事に再発見していました。

また、歴史の立ち寄り先では児童達が小学校の総合学習の時間に自分たちで調べ、考えた郷土の歴史や偉人のクイズを参加者に出題し、参加者は「へえ」「なるほど」などと駅東エリアの歴史の理解を深めていました。最初は緊張していた児童達も、クイズを真剣に聞いている



中で見えてきた課題点、今後の目標について、熱く語ってくれました。その後、第2部として、団体の枠組みを外してグループに分かれ、まち歩き企画作成を行いました。その手法として、自分たちの「興味があること」「好きなもの」というソフトの面から連想式を考えていくという、今までとは異なった切り口で行いました。

その結果、「大人のまち歩き」「カッパルのデートコース」としてのまち歩き「成人式に行うUターン層をねらったまち歩き」など、次々と斬新なアイデアを参加者から引き出すことが出来ました。

今回の「まち歩きフォーラム」を終え、参加して頂いた他団体の方からも、「非常に参考になった。参加させてもらって良かった」「是非とも今後の事業で協働していきたい」と、嬉しいお言葉をたくさん頂きました。今回のフォーラムをきっかけに、今後のまち歩きにおいて、他団体とのより進んだ形での「協働」を行い、まち歩き事業のさらなるバージョンアップを行ってほしいよう、福井YEG一丸となって取り組んで行ければと思います。



【記事担当：山形 悠】

全国会長研修会

16日(金)〜17日(土)にかけて三重県津市で開催された第30回全国会長研修会美し国三重・津会議に参加しました。福井YEGからは12名が参加。全国のメンバーと意見交換ならびに交流を行いました。

今回の会長研修会のテーマは、「今を知り、人を繋ぎ、未来を変える。過去最高となる1,500名超の会員が参加登録されたらしいです。」さすが、美し旭小学校児童にまち歩きガイドをお願いするという初の試みに挑戦したこともあって、商店や食、歴史の掘り起こしのほか、児童との事前打ち合わせなど事前準備に苦勞しましたが、旭公民館さんを始め旭小学校児童のまち歩きガイドというお話を旭小学校さんにお願いにあがった際、こころよくお引き受け下さった先生方にもこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。

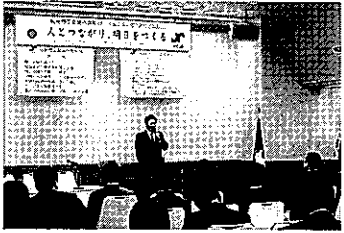


【記事担当：奥田 茂】

12月定期総会

12月定期総会を開催しました。12月定期総会では、4月定期総会ほどのボリュームではありませんが、次年度役員選出と次年度の基本方針をご審議いただく重要な総会です。師走の忙しい時期でもおかつ18時30分という早い時間のスタートということもあり、定足数を心配しておりましたが、会員の皆さんにご協力をいただき、

定刻に総会を開始することができました。議長の選出では、高木会長より五十嵐副会長が指名されました。今回の議案は2つで、第1号議案では平成25年度役員選出(案)について、平成24年度選挙管理委員会委員長の上松君より、平成25年度の役員33名+相談役2名の氏名が報告され、賛成多数で可決承認さ



国! 私が参加した一日目の分科会では、「にくまん・あんまん」「あずきバー」で有名な井村屋グループ株式会社の食品工場を見学。食品の安全・安心はもちろん、究極のおいしさを追求する工場の取り組みを目の当たりにし、同社の企業理念である「おいしい!の笑顔をつくる」が工場の隅々まで浸透していることを実感しました。

また、工場見学の後に行なわれた浅田社長の講話では、「ミッション・ビジョン・バッション」が企業においては何よりも大事であるという話をうかがい、これらが社員にとつての活動の原点であるとともに、精神的支柱になるということ学びました。試食で頂いた「にくまん」にも、「ミッション・ビジョン・バッション」のエッセンスが凝縮されているような気がしました。まさに、美し国!! 二日目の行なわれた全体研修では、金美齡氏が「いまこそ、日本人の矜持を取り戻そう!」と題して講演。二日酔いもすぐに吹き飛ばすような内容で、日本がいかに素晴らしい国であるか、日本人がいかに素晴らしい民族であるかを強調され、もつと日本人としての自信と誇りを持って行動してほしいと強く訴えられました。

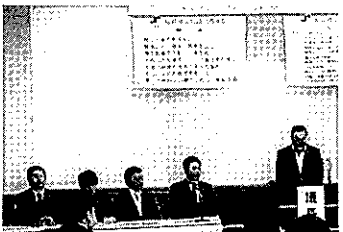
これは日本という国を俯瞰的に捉えることのできる金美齡氏ならではの直言であり、我われ以上に日本のことを憂い、そして日本のことを想われながら、厳しくも温かい激励を頂きました。私自身、この国で日本人として生まれ育つたことに感謝するとともに、日本人としての矜持を取り戻す貴重な機会となりました。二日間にわたる研修会や懇親会などを通じて多くの気づきを得ることができ、こんな私も、熱意のある会員に少しは近づけたような気がします。「今を知り、人を繋ぎ、未来を変える」ための有意義な会長研修会となりました。このような研修会に10年ぶりに参加する機会を頂いたことに感謝します。ありがとうございます。美し国!!! 【記事担当：石川裕夏】



れました。第2号議案は、平成25年基本方針ということで、平成25年度会長予定者の山口広征君より基本方針(案)が一読され、こちらも賛成多数で可決承認されました。以上、2つの議案が慎重なる審議の結果、可決承認されました。

議案審議が終わり、平成25年度会長に内定しました山口広征君より挨拶。山口次年度の挨拶では、過去の経歴や自分自身の性格などを盛り込んだ内容でお話をしていました。過去をカミングアウトされ、会員の皆さんも山口次年度がどういう人なのか知っていただけただけではないかと思えます。

【記事担当：武曾栄治】



12月度例会冬レクリエーション

12月8日(土)にバードグリーンホテルの会場で夕方5時から一生のつながり作り委員会主催のもと家族参加型の例会を開催しました。「幸せ記念日」〜笑顔が集まるHappy Family〜という素晴らしいテーマで、会員、会員のご家族全員に幸せになつていただこうという願いが込められていました。

まず一つ目のレクリエーションとして、「どきどきメダル探し」が始まりました。会場フロアー一面にメダルが隠されていて、その探し当てたメダルでガチャガチャができるようになります。ガチャガチャのカプセルの中に点数が書かれている紙



が入って、その点数が各テーブルごとの得点となり、とても白熱したメダル探しゲームとなりました。射的場でもメダルが獲得できるように頑張ってお子様達も大いに喜んでいました。

肝心のお食事はなんとコース料理となっており、結婚式場ならではのとても美味しい料理を堪能できました。お子様にはキッズプレートがありボリューム満点のお料理で満足しました。

お食事歌謡中にはジャズの演奏があり、プロの演奏者の皆様も素晴らしい雰囲気を作ってくださいました。なんとサブライズで山口副会長の生トランペット演奏があり、素晴らしい音色を聞かせていただきました。「ラボ」。

二つ目のレクリエーションでは「わくわくクロスワードワード」が始まり、各テーブルごとでコミュニケーションとりながらのゲームとなりました。さらにはピング大会もあり大いに会場が盛り上がりしました。

お子様が多く参加するという事でメンバーの川端副委員長作の段ボールハウスが大人気で、落書きできたりハウス内でDVDが見れたり子供達の笑顔がたくさん見ることができました。

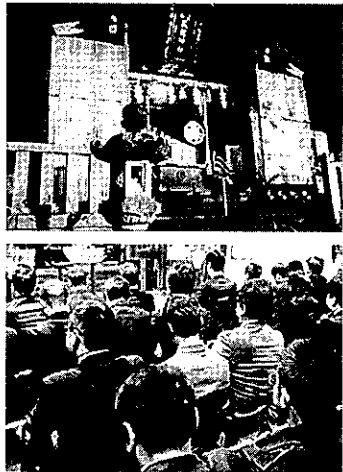
今回の家族例会では本当にたくさんの方の笑顔が見ることができたと同時に幸せオーラをひしひしと感じさせていただけました。参加された会員さんにはご家族の皆様、本当にありがとうございました。一生のつながり作り委員会のメンバーが一致団結して行動できた事が大成に結び付いたものと思っております。本当に「苦勞様でした、そしてありがとうございました」。

【記事担当：中川知士】



年初めご祈禱会に参加

平成25年1月16日(水)、当単会拠点である福井商工会議所ビルの近く毛谷黒龍神社にて事業成功を祈願するために「年初め御祈禱会」を執り行いました。毛谷黒龍神社は、九頭龍川の守護神として創建され、日本古来の四大明神の一つとされるお社であり、降魔調伏のパワーを授けてくれるパワースポットとして全国的にも有名で、厄除けや生命力の向上、子授け・安産祈願や商売繁盛の神社とされています。



1月度例会 時間をまなび

23日(水)、19時より福井商工会議所においてビジネスつながり委員会1月度例会を開催しました。

テーマは「時間力」(時間は有限貴重な資源)で(株)ブリッジ代表取締役橋脇典子氏にご講演いただきました。まずは「自分にとってムダな時間、ムダな作業は何か」テーブルごとに皆で問題抽出からいざスタート。会員の「本当にムダな時間」たくさん発表して



2月会員大会ふくいの大会

16日(土)、福井商工会議所ビルに於いて、平成24年度福井県商工会議所青年部連合会第29回会員大会ふくいの大会を開催しました。

1年前から会員大会実行委員会を立ち上げ、「ふくい力(ちから)さらなる高みへ歩みだそう」融合からアクションへ」をテーマに、松井実行委員長を中心に会員大会PRをはじめ、様々な準備を行ってきました。そして登録数も会員大会過去最高の229名になりました。

当日の式典は緊張した雰囲気の中、福井YEGらしく肅々と行われました。オープニングのDVDでは、福井県内7単会の事業や県連事業である三地区交流会、そして小浜での近畿ブロック大会の映像が映し出され、小浜での素晴らしい感動が蘇り、改めて福井県連の熱き絆を感じました。

また、立待小学校教諭岩堀美雪先生の講演会では、「自己肯定感が人を劇的に成長させる」自分が変われば、会社も変わる」と題し、パーソナルポートフォリオの出会いから、このパーソナルポート



フォリオを通して変化していった子どもたちの様子を、ドキュメンタリー番組で紹介された映像を交えてお話いただきました。途中、子どもたちの映像を見ながら涙ぐむ会員も...

「子どもたちはだれでも素晴らしい可能性を持っている。いいところのない子はひとりもない。ずっと自分のことを好きでいてほしい。そしてまっすぐ育ってほしい」と心から願う岩堀先生のお話に吸い込まれてしまいました。

そしてワークショップに移り、自分の事や家族、友達のことを大好きになるために、自分の夢や自分の良い所、両親に教えてもらったことなどを書き出し、グループでお互いの良い所を付箋を使って書いてあげたり、それをファイルに入れて自分ノートを作りました。講演会からワークショップ終了まで3時間20分という長い時間で休憩もありませんでしたが、とても和やかなムードで会員同士の親睦も深まり大変有意義な講演会、ワークショップだったと思います。

懇親会では、福井YEGが立ち上げたヨサコイイッチョライで始まり、福井YEG女子のAKB4、熱き熱きピングなどのアトラクションをはじめ、料理は7単会の食材を集めて作った融合鍋や福井の会員企業のオリジナル料理と盛りだくさん。おもてなしの心で、福井YEGが丸となって開催した驚きと感動の素晴らしい大会でした。

【記事担当：山本 清美】

実行委員会

委員長 松井良平

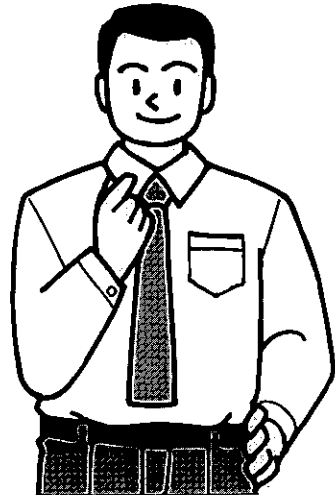
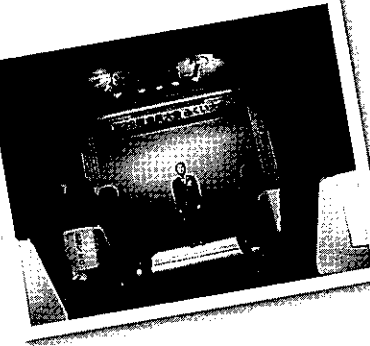
一昨年の秋に高木会長予定者(当時)より、会員大会の実行委員長をやってくれないかとの打診があった時点から私の会員大会がスタートしました。敦賀の県連大会時のPRでは何の根拠もない状態で「登録200名を目指します」宣言をし、ある意味自分で自分にプレッシャーをかけた状態で県連大会の準備がスタートしました。

私の今までのYEG活動でのモットーは、今までと同じ事はせずに、今までにない事業にしていき参加者をアツと驚かせる大会にしていく考えをずっと持っておりました。企画を詰めていく中で色々な議論になり行き詰まることや、全体会議の中で指摘されることも多く、私も今だから言いますが、非常に悩み苦しんだ時期もありました。

ですが、できないことを最初から諦めるのではなく、実現のために知恵を絞る、そして汗をかき解決していくことがYEGの本来的なべき姿だと私は先輩から教えられましたので、一切の妥協をせず企画を作り上げてきたつもりであります。

また、今年は今

議ブロック若狭小浜大会が開催されたこともあり、県連の中の盛り上がりは過去類を見ないほど大きく、この福井開催の県連大会に期待する声は相当なものでした。その県連の盛り上がりから、この単会を一つにし、



ました。ムダな時間を無くす！有効な時間の使い方・作り方！時間力が付く！このメカニズムをしつかり学んでいただきましょう。まずは出来る所から。それは「意思決定」を早くする！「優先順位を付ける！」「シンプル判断基準を持つておく！」いろいろなまずは出来ることを会員それぞれ考えたのではないでしょう。自身の仕事やプライベートでも、まずは「出来ること」の気づきを実行して欲しいものです。



【記事担当：石丸敦士】

絆をより強いものに深め、結果的に県連大会過去最高の229名の登録者を達成したのではないかなと思っております。



各部会が考え、細部に渡るまでこだわりにこだわり抜いた企画の数々は福井YEGらしさが随所に見られ、多くの参加者に驚きと感動を与えられたと思っております。終了後の帰って行かれる参加者の満足そうな顔、たくさん笑顔が見れたことがこの大会の成功を物語っているのではないかと思います。そして何よりこの大会に向けて福井YEG会員が一つになり全体で取り組んでくれたことが、福井YEGにとって一番の収穫なのかなと感じております。

7年前の会員大会を知るメンバーがほとんど居ない中で、ほぼゼロの状態から事業を作り上げる。過程としては本当に大変なことではありましたが、それ以上に楽しみや得られるものが多いと思えます。自ら汗をかき一つ一つの問題を解決し、事業を構築していくそれがYEGらしさであり自らを成長させていくものだと思っております。

この会員大会に関わった特に若いメンバーがこの経験を活かし、来年の40周年そして7年後の県連大会も福井YEGらしい斬新な事業を構築していったほしいなと思えます(私ももちろん現役です)。最後にになりましたが、この大会に関わって頂いた全ての皆様に感謝申し上げ、会員大会の総括とさせていただきます。

総務部会

部長 森下峰雪

会員大会ふくい大会においてはメンバーの協力のおかげで大変素晴らしい大会になりました。今大会の準備に携わらせていただきまして、私自身、得る事が多かったと感じております。一つ目には、様々な準備を進めていく上で、時間をかけて考えて手間をかける事業ほど、終わったときの充実感が大きく、メンバーとの繋がりも強くなつていくと感じさせていたと思います。二つ目には、大会事業を企画していく上で多くの時間と情熱をかけないと成功しない事を体験させていたいただきました。このように体験させていたいただきましたおかげで、過去に参加してこなかった大会事業について、申し訳ないことをしていたと気づき、反省させていたいただきました。今後は今以上に積極的に大会事業にも登録して、それぞれの実行委員の方の想いを感じて行くとどこかでまた別の意見がでてくる。全ての意見はよりよい会員大会にすることを願うので意見がありませんが、全ての意見を汲み取りすぎて前に進めないということもありませう。よりよい方向に進めるにはどのように進んでいけばいいのか、体験を通して学ばせていただきました。

最後に、会員大会終了後には、多くの他単会メンバーから「よかった。すばらしい会員大会だった。元気をもらえた大会だった。」とお言葉をいただきました。福井YEGメンバー全員が一つになった結果、このような言葉をいただけるのだと思っております。今後のYEG活動にも今大会で発揮された「福井YEG全員の力」を継続していくことができるように私自身も積極的に力をだしていきたいと思っております。

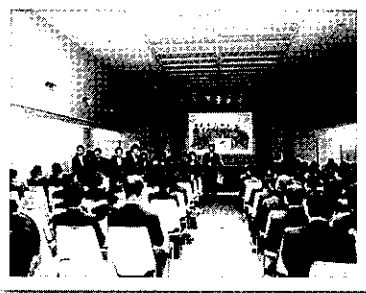
式典部会

部長 小林満只

確か始まりは、天野委員長からの一本の軽いノリの電話でした。良く考えもせず二つ返事で引き受けてしまいました。あれから「四川料理もりた」のお弁当を何度食べたことでしょうか、弁当箱のふたの柄まで脳裏に焼きついていきます。そんなこと天野委員長には関係ないですよ(笑)

また、実行委員会が最初に覚えた事はスマホでのラインの使い方でした。特にパソコンでのライン使用に関しては細心の注意が必要だということ。松井実行委員長は身を持って教えて下さった様に思います。流石です！とても感謝しております。

振り返ってみると、いつの間にか消えたお揃いのピンクのスカートやネクタイ、今でもあつた方が良かったと思う大会PR用横断幕。そりゃ僕も照れます鯖江での大会PR司会。なかなか決まらなかった式典会場、プロ野球ニュースに始まり、F1、格闘技と何故かスポーツの呪縛から逃れられなかったオープニング曲、三人がかりで作った気がする式典進行表、日中は音信不通の天野委員長、脚立に上つてまさかの自分でスポットライトの角度調整絶対あり得ない会場挨拶時の着メロ暴走など等、この数ヶ月かなり楽しくあつたと言期間時間だつたように思います。



それでも問題なく大会をこなしてしまおう福井YEGメンバー個々の高いスキルと、それが融合された福井YEG力からの強さです。今大会の経験をもとに更にパワーアップした力を、今後もより良い「ふくい」づくりの為に活かしましょう。

フォーラム部会

部長 福田智司

フォーラムを担当すると決まり、形式をどうしようか？講師を呼ぶならだれが良いのか？と本当に悩みました。ただ、私たち「未来とのつながり委員会」が担当するのだから、キャリア教育は外せない！むしろ、前面に出すべきだ！という事は、みんなの意見が一致するところでした。ビジネス系のテクニカルな研修ではなく、今回は自分自身について考える研修にしようと思えました。そんな経緯があり、岩堀美雪先生にお願いすることにしました。



講師が決まっただけでも心配なことだらけです。実際に岩堀先生と打合せをしている私はなんの不安もないのですが、そのことをうまく伝えられていないこともあり、青年経済人の集まりであるYEGで小学校の先生が講師をするという、何とも言えない違和感があったようにです。

そんな心配も岩堀先生と打合せをするたびに無くなっていきました。「自己肯定感」をキーワードに講演内容、ワークショップを組み立てることで、自分を見つめなおす機会を作ることになりました。自己肯定感が自分自身を成長させるという期待感もありました。それがどのような内容だったのか、みんながどのようになつていったのか、フォーラムが終わったから実感できました。何人ものメンバーから「良かったわ！親のことを考えることなんて、こういう機会がないとできないし」「岩堀先生に講演の依頼できるかな？」というような声をかけていただきました。本当にうれしかったです。岩堀先生にもメンバーからのうれしい言葉があつたようで感激されていきました。

フォーラムが終わってからは、反省するところはいくつもありました。運営において当日に気がつくこともあり、反省するばかりです。そういう状況でも委員会メンバーにとっても助けられて、無事に開催できました。感謝と反省とで充実の会員大会となりました。みなさま、ありがとうございます。

懇親会企画部会

部長 末本正樹

今大会が大成に終わって、この一年間の活動を振り返ったとき、私には、『感謝』という言葉が浮かびました。

年度当初に、会員大会の部長の一員に選ばれ、自分のようなまだ入会3年目の者が、大会を成功に導けるのか不安でしたが、実行委員会のメンバーと会議を



重ねるうちに、自信が湧き、絶対成功すると確信に変えることが出来ました。私のモチベーションを押し上げてくれた実行委員会メンバーにまず感謝いたします。

次に感謝したいのは、出演者の皆様です。NPOのイチヨライチムの皆さんは、出演の依頼をした時期が遅かったのに、快く快諾して頂き、あの盛り上がりへのオープニングを飾って頂きました。AKB48は、今年度ご卒業されるメンバーが含まれているにも関わらず、出演をOKして頂き、懇親会一番の盛り上がりを作ってくれました。初期の練習に立ち会ったときなど、かなり不安でしたが、本番数日前には、鬼コーチの熱血指導のもと、きっちり仕上げられて来たところなど、プロ根性を感じました。ありがとうございます。

最後に感謝したいのは、ビジネスつなげる委員会メンバーです。実行委員会であがつてきた様々な意見に対し、委員会メンバーは、真剣に考え、議論し合い、多くのアレンジを加え、精査された懇親会企画を考え、実行に移して頂きました。当日のスタッフとしての動きもほぼ完璧でした。ありがとうございます。

ただ、今回の会員大会において個人的に残念だったのは、当日、懇親会開催の準備に忙しく、他単会のメンバーとふれあい、交流を深める事が出来なかつたことが心残りでした。もっと時間を見つけて、行動に移すべきでした。今回、私が部長を受けた事により得る事が出来た、YEGメンバーとの深い絆や、多くの経験を生かし、残り2年間のYEGライフを楽しみたいと思

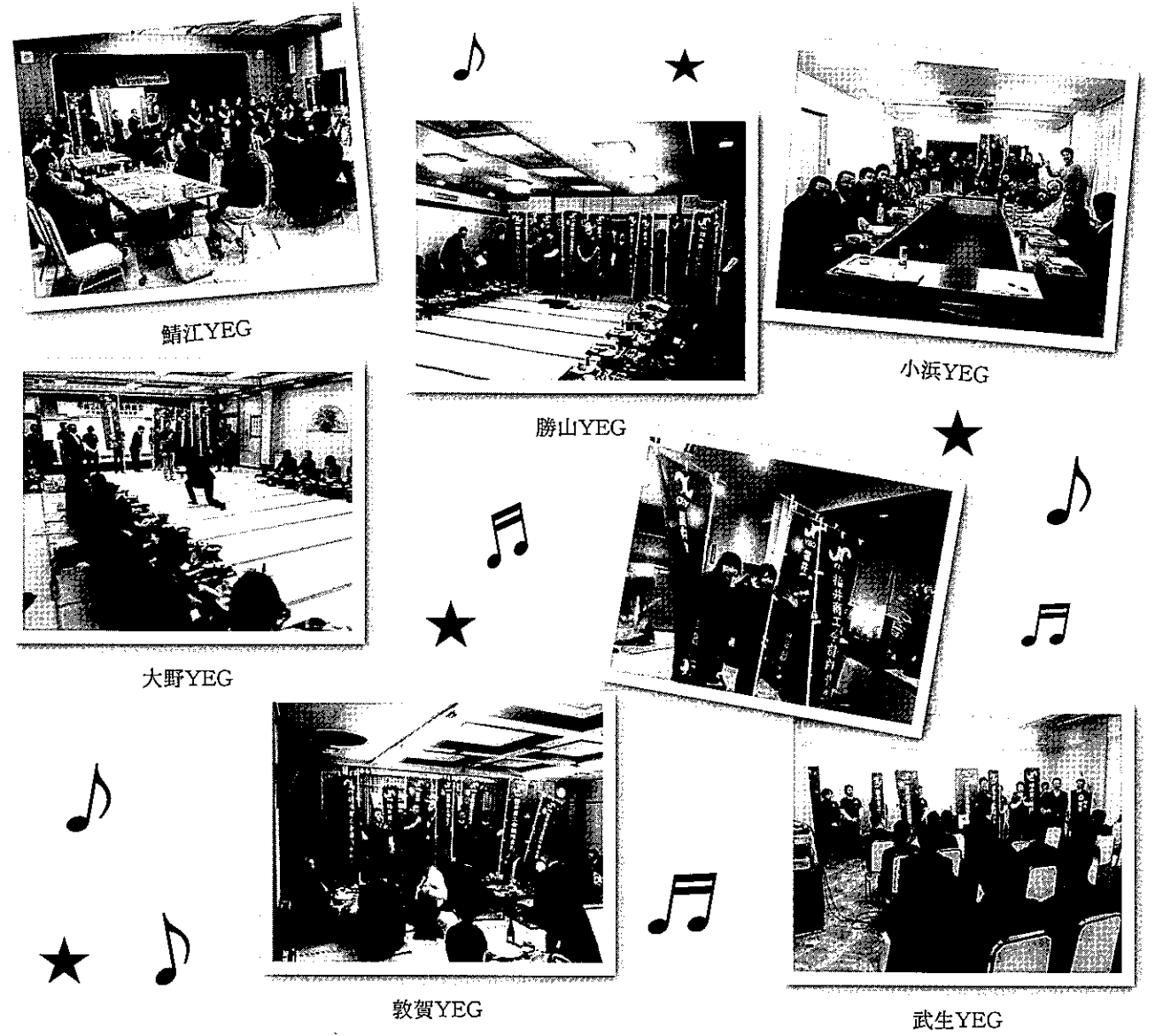
懇親会料理部会

部会長
畑 有信

地域つなげる委員会 畑有信 まずは、7年ぶりとなる福井あYEG主催の県連大会に参加できたことに、心から感謝申し上げます。
始まり、料理の内容決めなど連日連夜の打ち合わせに、自分に何が出来るのかと自問自答の日々の中、委員長をはじめたくさんの方に協力いただき、上にひっぱりあげていただいたこと、そして大会がスローガンの(福井ちから)にふさわしい内容になったこと、私自身の大きな力(ちから)になったこと、メンバー一丸となり大成をおさめられたことが、何にもかえがたい喜びとなりました。今後は、更に地域に密着した活動を行うと共に自分磨きに力を注いでいきたいと思っております。



= P R 活動風景 =



小浜YEG

勝山YEG

鯖江YEG

大野YEG

敦賀YEG

武生YEG

卒業生の言葉

江守 勇三



わたしは平成20年に当初の堀田会長の紹介で入会いたしました。
同期には天野くん・宮永くん・小辻くん・北出くんなどが新メンバーとして顔をならべておりました。現在では委員長クラスでみなさん活躍されています。

わたしの思い出は、2009年10月31日に行われたYEG 35周年事業。担当は懇親会全般。お目当ては会員企業による、ご自慢の商品ブースでした。中華は「もりた」の富津金時からつくったさつま揚げの餃子。なんとも香ばしく美味でした。日本食は「やなぎ町」の極上鯖寿司。ほんのり辛子のきいた味が特徴だったのを覚えています。お菓子は「村中甘泉堂」の栗三昧。「栗つこ羽二重」が大好きで、よく家内も買ってきてくれます。おいしいです。中でも忘れられないのが「へしこ酒あらい」が酒の肴には最高です。天野さんに昔からプレゼントしますよ。と言われたときそのままになっております。覚えてはいますかね。天つは「汐うさ」が有名ですが、へしこは天下逸品です。是非一度ご賞味ください。
誠に短い5年間でした。この時に出会った人とのつながりは私にとって財産であり、仲間もたくさんできました。委員会で膝を交えながら語った仲間や大会で知り合った友達。家族で参加したそば打ち・餅つき大会・クリスマス会。どれもなつかしい思い出です。近年はあまり委員会に参加できませんでしたが5年間のYEG生活を体験できて満足しております。これからの人生経験に生かされればと思っております。最後になりましたが卒業式は業務の都合で欠席しますが、ホテルに来られた折には気軽に声をかけください。これからのYEGの皆さんの活躍をお祈り申し上げます。



景山 直恵

入会時30歳のフレッシュな私が、今では15年のヴェンテージュ物に。熟成されたそのまろやかな味はYEGライフのお陰です。



角谷 恒彦

まず入会して間もない頃に、第1回「よきこいイッチョロイ」のロゴやポスター制作、その後も「アントレキッズ」のロゴマークや「さくらのおはし」のパッケージなど仕事の面で走らせていただきました。
YEG活動もたくさん思い出をいただき、委員長を経験させていただいた年に次女を妊娠。大きいおなかで走り回っていたら「おいおいー走つたらあかんーこけたらどーすんやー」と慌てていた皆さんの顔が今でも忘れられません。また山本清美会長のもと副会長を経験させていただいた今年度、日本YEG出向で全国を走り回りました。おまけに夜の繁華街で走り、海外研修では買物に走り・・・楽しんで走れたことをYEG、そしてそのメンバーにとっても感謝しています。
正直、子育てと家庭と仕事、そしてYEG活動は決して楽しいばかりではなく、例会や委員会がある日は、食事の支度や家事がままならない状態だったり子どもに泣かれたり、自分が泣きたくなるのが幾度か。それもこれもYEGメンバーや家族の協力があって何とか走ってこれました。それまで見ず知らずの者同士が仕事以外のことで一緒に走り、何かを成し遂げた時に生まれる達成感と友情は、私自身の熟成を助長してくれました。
公私ともに熟成させていただいた「YEGライフ」走る「これからは少しゆとり目に見えて、前に向かって走る現役メンバーに声援を送りたいと思います。息が切れて一休みしている私に気付いたら後ろから押してくださいね(笑)。本当にありがとうございます！」
2003年「ふくい秋の収穫祭」のご縁で、入会させていただき、6年在籍させていただいたYEG。目立つ活動や役職にもつかずただただお手伝いをする、勝手に決め委員会活動させていただきました。
思い返すと、入会例も受けてないのに、いきなり当日呼ばれた時代行列。寸劇の打合せもせず、着替えて歩き、台本も無いまま舞台に立ち、旗や何役も分からないまま行列し、終盤になって橋本左内役と分かるなど、ちよっとしたハプニングもなんのその、私自身楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。
会社の代表になり、あまり時間が取れず、活動が出来ない



清川 卓二

YEG人生「人生山あれば、山あり」平成6年に入会させて頂き、YEG生活18年の生活も無事卒業することができました。ひとえに、YEGの諸先輩と会議所の方々、そして、一緒に活動を共にしてくれたYEGの仲間のおかげです。本当に、感謝いたします。YEG生活で貰ってきたことは、「断らないこと」でした。入会して半年、次年度の副委員長に指名頂いた時、気後れして断ってしまった。しかし、後になり、大変後悔しました。せっかく、声をかけてもらったのに、先輩に大変申し訳なく、チャンスを逃したことも後で気付きました！そして、翌年からは、頼まれたら、3つの単語のいずれかしか言わないこととしました。それは、「はい」か「YES」か「喜んで」です。その結果、副委員長、委員長、副会長を経験し、H15日本YEG会長研修会実行委員長、H16単体会長、H21県連会長、H24日本YEG広報委員長と多くのチャンスを与えて頂き、多くの友情と感動を味わうこととなりました。ハートランド、イタリア in 福伊、福井市民会議、Yosaki イッチョロイ、桜パトロール、桜のお箸、アントレ・キッズ、風鈴プロジェクト、街歩き、ふくいキャリア教育フォーラム、YEG一揆大作戦と多くの事業を仲間と共に作り上げ、そして、日本YEGでは、福井YEGで培った力を、大いに発揮できた実感しております。YEGを一生懸命すること、視野を広げ、念意(おもい)を広げ、行動範囲を広げることが商売への反映させることができ、結果も出すことができました。まさに、YEG人生悔いなしです。

最後に、YEG人生で私が出た座右の銘を紹介します。「人生山あれば、山あり」どんなに険しく高い山でも、必ず太陽が山の上から光を照らし、頂上に導いてくれます。人生は、常に上を向いてさあいれば、太陽(先輩、仲間)が導いてくれます。みなさん、ありがとうございます。



高木かおり

YEGって何？と思いつつ入会してしま...
「絶対できない！私には向いていな...」

「かっこよく、おしゃれに生きる」ということでした。メン...
「かっこよく、おしゃれに生きる」ということでした。メン...
「かっこよく、おしゃれに生きる」ということでした。メン...



原 一郎

皆様、大変ご無沙汰いたしました。平成15年に、当時の林会長のお誘い...
皆様、大変ご無沙汰いたしました。平成15年に、当時の林会長のお誘い...
皆様、大変ご無沙汰いたしました。平成15年に、当時の林会長のお誘い...



水元 一徳

平成10年、30歳に私は福井YEGに入会しました。入会当初は「人間形成...」
平成10年、30歳に私は福井YEGに入会しました。入会当初は「人間形成...」
平成10年、30歳に私は福井YEGに入会しました。入会当初は「人間形成...」

「かっこよく、おしゃれに生きる」ということでした。メン...
「かっこよく、おしゃれに生きる」ということでした。メン...
「かっこよく、おしゃれに生きる」ということでした。メン...



山本 清美

平成16年に入会させて頂いて以来、8年余り沢山の思い出を作ることが...
平成16年に入会させて頂いて以来、8年余り沢山の思い出を作ることが...
平成16年に入会させて頂いて以来、8年余り沢山の思い出を作ることが...

平成24年度を振り返って

総務・渉外委員会



委員長 岡山 宇太郎

本日に良いメンバーに恵まれたと思います。いかにメンバーの才能を生かすかが僕の務めだと感じ、終始...
本日に良いメンバーに恵まれたと思います。いかにメンバーの才能を生かすかが僕の務めだと感じ、終始...
本日に良いメンバーに恵まれたと思います。いかにメンバーの才能を生かすかが僕の務めだと感じ、終始...



平成24年度を振り返って

一生のつながり作り委員会



委員長 天野 準一

昨年度、そして本年度と二年にわたって委員長をさせて頂いた...
昨年度、そして本年度と二年にわたって委員長をさせて頂いた...
昨年度、そして本年度と二年にわたって委員長をさせて頂いた...

未来とのつながり委員会



委員長 朝田 健一

私は、「未来とのつながり委員会」の委員長として実感したことは...
私は、「未来とのつながり委員会」の委員長として実感したことは...
私は、「未来とのつながり委員会」の委員長として実感したことは...



次年度は今年新入会員の皆さんもいろいろな委員会に所属され...
次年度は今年新入会員の皆さんもいろいろな委員会に所属され...
次年度は今年新入会員の皆さんもいろいろな委員会に所属され...

- 12月 自治会館で開催。
12月 社西小学校の6年生を対象に社地区内の企業6社が「アントレ・キッズ」を実施。
1月 円山小学校の6年生を対象に福井YEG会員企業5社が「アントレ・キッズ」を実施。
2月 「沖繩キャリア教育EXPO2013」に高木会長と菊副会長が参加。「アントレ・キッズ」のプレゼン。

資質向上委員会

委員長 森下峰雪



本年度、資質向上委員会委員長を仰せつかりました森下です。委員長職を拝命し身の引き締まる思いであります。

資質向上委員会という委員会名は普通過ぎる名前ではありませんが、私自身、何の為に委員長職をさせていただくのか、また、何の為に委員会活動を行っていくのか、何の為にYEG活動を行っていくのかと考えた時に、全ては自身の資質の向上の為にありと考えました。そこで、本年度は会員それぞれの資質向上という事を目的に委員会活動を行ってみたいと思っております。子供の成長を見ているとよく分かるのですが、昨日出来なかったことが出来るようになる親も嬉しいと思います。そして、子供も喜んで、私にこんなことが出来るようになったと言ってきたくれます。私自身も子供と同じように、自己の成長を感じられる時に幸せを感じることが出来ます。そこには、自己成長をしたいという欲求と学び続けることが大切であると諸先輩から教えていただきました。やるかやらないか迷った時はやってみる。自分に訪れる全ての問題は、解決出来ない問題は襲いかかってこ

ない。こう、自分に暗示をかけて委員長職を全うしてまいります。前置きが長くなりましたが、本年度、資質向上委員会では資質向上という目的を潜在能力と顕在能力の側面に分解し、そこからあらゆる方面への研鑽ができるような例会を企画していきたいと思っております。ただ参加するだけではなく、資質の向上という目的を持って参加出来るようにしてまいります。どうぞ、一年間よろしくお願いいたします。

未来へはばだけ委員会

委員長 中川知士



平成二十五年度「未来へはばだけ委員会」の委員長を務めさせて頂きます中川知士です。どうぞ宜しくお願い致します。

初めての委員長と言う事で非常にプレッシャーと不安を抱えておりますが、逆にそれらを跳ね返しプラスの力に変え、当委員会メンバー全員で立ち向かい協力しながら高い壁を乗り越えていきます。また委員会「愛」を忘れずに、自分の殻、さらにはYEGの殻を破り、熱い気持ちを持つてはばたいていきます。

にぎわい創出委員会

委員長 五十嵐 嘉紀



まさか私が委員長とは(汗)坂田副会長からの連絡、晴天の霹靂でした。平成9年に入会し、青年部

歴、早17年、そして今年40歳を迎え、早速の前厄?!が、委員長就任だったのでしょうか? (笑) 私が担当するにぎわい創出委員会は、街づくりを基本とし、地域との連携、提案が主となります。春の街歩きは、我々青年部が主体となり、数ある関連団体に声をかけ、親会とも連携し、今まではらばららに行ってきた街歩きを同日開催を図り、春祭りの核になるものを目指します。夏に向けては、福井フェニックス祭りへの提言や会議所会員企業が、参加出来る様な形を現在模索しています。その他、桜促進事業やお堀のあかり事業も委員会の核になる事業です。これらの事業は、青年部で提言、提案、実行していきますが、青年部単独ではなりたない事業ばかりです。まして、私の委員会のみで出来るものではないものばかりです。青年部のみなさんに意見を頂き、全体事業としてお声がけしていきますので、その時には快く協力して下さいませよう、1年間よろしく、お願い致します。



七年間続いているアントレ・キッズ関連事業につきましては今年度も勿論継続・伝承していきます。特に広報に力を入れていき、福井の地でより多くこの事業を理解し行動してもらえるように努力していきます。キャリア教育フォーラム事業では他団体との連携をしながら前回以上の素晴らしい事業を構築していきます。ビジネスの委員会といたしまして、長いスパンでのビジネススキルの実践も考えております。

会長の想いにもありますように、当委員会の事業を通じて、より福井の地を大切に思い福井の地で成長し、活気に満ちた福井になるための足掛かりとなればと思っております。全力で活動していきますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。「がんばるぞ〜」

まち・ひと活性化委員会

委員長 久野 真



平成25年度まち・ひと活性化委員会の委員長を務めさせて頂きます久野 真です。

当委員会では新入会員の皆さんに所属していただき、同輩同士が親睦を図りながら、時には委員会の枠を超え

協働し事業を展開して参ります。事業運営を通じて、YEGの意義や伝統、情熱を新入会員の皆さんへ伝えるとても重要な委員会だと考えています。

私がYEGに入会した頃、先輩方から「YEGは、やったことがないことに挑戦できる場だ」と教わりました。同期の仲間とアイデアを出し合い、力を合わせることで形にできる喜びを実感しました。その中で異業種の方々と交流することで学びを得ることも多く、いつしか自分の仕事や人生観でプラスになっていることに気付きます。まずは一年間、自己研鑽の気持ちで活動を共にされ、ぜひ私と同じ気持ちを感じていただきたいと考えています。

年度開始と共にアントレ・キッズ事業やまち歩き事業の企画に全力を注ぎます。いずれも先輩方が長年築き上げてこられたとても重要な事業です。新入会員のフレッシュな発想力とチームワークを発揮できる環境を整え、さらに磨きをかけた事業に成長させたいと思います。その結果、地域がそして各人が活性化し、さらにはYEG全体にも新たな刺激を与える委員会になることを目指します。

今回初めて委員長職を拝命するにあたり、私自身も挑戦の一年にします。皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平成25年度 福井商工会議所青年部 組織図



※本組織図は25年4月の定期総会に提出予定の議案であり、編集時(25年3月)では正式決定されたものではありません。

新入会員紹介



ヒノデ工業株式会社

内田 康 紀

創立48年地元を中心に水道屋として着手し今では積み重ねた実績とノウハウを活かし水廻りなど総合的に提案させていただいております。住宅改修や一般生活における水のトラブル改善など、皆様が「安心」で「快適」な日常生活を送れるよう心がけています。



勝見金箴製作所

勝見 泰 久

勝見金箴製作所の勝見泰久と申します。業務内容ですが、織物を織る際に欠かせない道具金箴を制作しています。新入会員と言えども丸一年が経ちました。色々学び気づきのある一年間でした。これからもよろしくお願いたします。



有限会社グラヴィ

木村 あいこ

「キレイに本気」をテーマに、フェイシャル・痩身・脱毛だけでなく、体質改善プログラム等を取り入れたメニューを提案し続け15年目のエステティックサロンPartureを運営しています。



Media Advertise
メディア アフロディーテ

澤田 拓也

婚礼をメインに企業VP・CM・番組制作・ミュージックPV等、映像制作をしています。映像は「感動や笑顔」を永遠に残せる手段のひとつと考え皆様の想いやリクエストをこれまでの経験を活かし総合的にプロデュースいたします。



株式会社ライトスタッフ

柴田 光 義

クオリティの高い「イベント」や「グラフィック」をお客様に提案・提供するために、既成概念にとらわれない「Yesマン」在籍0名の会社です！「お固いもの」から「おちゃらけなもの」までオモイをカタチにするクリエイティブ集団の一人として、奮闘中です！



株式会社光ING

砂村 真也

弊社の主な業務内容は、インターネット回線の取次でございます。私の好きな言葉は、「努力」、「気合」、「根性」です。学びたい、成長したい、経験したい、という気持ちでこの度はYEGに入会させて頂きました。この度はYEGの皆様、変わり者で若輩者ではございますが、YEGの皆様、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



株式会社ヨシケイ福井

園 真 和

全国50万個の食卓を応援する夕食食材宅配サービスを手がけるヨシケイの福井県内と東京都の9営業所を統括。レシピ付メニューブックと安心・安全な食材をご家庭に。関連企業のすみよしグループでは県内の5社・9店舗から日替わり宅配弁当・学校給食など毎日1万食をお届けしています。



社会保険労務士法人 坪川事務所

坪川 貞 幸

給与計算、労働社会保険の手続、労使トラブル対策、就業規則の作成や変更、労務監査などを行っています。労働保険事務組合や行政書士事務所も併設しています。



アソシエメンタルオフィス

中村 まゆみ

人材育成のコンサルタントをしています。新人研修、コミュニケーション、リーダーシップ研修など体験学習を通して、「気づき、考え、行動できる」社員を育てるお手伝いをしています。社内教育に是非お声かけください。



株式会社 スタジオ日放

野尻 竜 生

当社では、映像制作事業と、イベント・技術サービス事業の2つを柱に事業を展開。映像制作事業では、構成から撮影、ナレーション、編集まで全て自社制作。イベント・技術サービス事業では、イベントの企画・運営から、音響・照明・映像・会場設営まで様々な業務をプロデュースいたします。



有限会社アトラス

藤田 清 彦

個人様、法人様に総合リスクコンサルティングを行っています。リスクに対して様々な角度から検討し、取扱保険会社等18社の中から最適なプランをご案内いたします。YEG活動を通じ、地域経済社会の発展に貢献できるように頑張ります。



雪国科学ふくい
(石森電通システム株式会社)

前田 徳 之

新潟県雪国科学棟の福井代理店として、『新ストーブ』『省エネ電気式屋根・路面融雪』『赤外線反射断熱材VTRN』を福井初展開。『福井の冬を楽しく』をモットーに雪国福井の生活を快適にするお手伝いをさせていただきます。



株式会社 山岸和紙店

山岸 保 喜

日本三大和紙のひとつである越前和紙には約1500年の歴史があります。当社では、その技術と伝統を継承した最高品質の越前和紙を主に、その他様々な和紙製品の卸販売をしております。和紙の事なら当社にお任せください。



株式会社 太田忍工務店

吉村 哲 一

お家や店舗の新築からリフォーム、部分的な修繕や棚1つの取付まで建物に関するお悩みことは何でも相談下さい。創業から60年余、積み上げた信頼と経験の『対応力』をお客様に『安心』の家づくり。三代目となるべく日々精進しています。

おめでとう

Baby

Congratulation!



あまの そうた
天野 湊太くん
天野 準一 パパ
平成24年8月11日生
次男
これから楽しみです
(^^)

Baby

Congratulation!



しまだ こうすけ
島田 康佑くん
島田 茂和 パパ
平成25年2月15日生
長男
ミルクもって
ちようだい〜



Baby

Congratulation!



なかがわ こはる
中川 心陽ちゃん
中川 知士 パパ
平成24年7月27日生
長女
わーい！わーい！
パパ似♪

Baby

Congratulation!



むそう れお
武曾 伶央くん
武曾 栄治 パパ
平成24年11月1日生
三男
将来武曾家の食費は
大丈夫なのかな!?



Congratulation!



伊藤 俊輔君
〈婚期日〉平成24年11月10日
〈式場〉三國神社

お相手のお名前 (漢字・ふりがな)

いとう
伊藤 かおりさん
(旧姓 橋口 はしぐち)

- なれそめ 福井テレビの街角PR隊に仕事で出演したのを偶然、嫁が見ていて連絡が来たことから。
- 相手の呼び名 かおりさん 俊輔
- 妻の得意料理 グラタン、ナポリタン
- 今後の抱負 頑張り屋さんなので体に気をつけてね。(主人から妻へ) これから一緒に人生を歩みながらお互い協力して温かい家庭を作って行こうね♪ (妻から主人へ)

結婚

Congratulation!



奥田 茂君
〈婚期日〉平成24年3月20日
〈式場〉ララシャンズ・ベルアミー

お相手のお名前 (漢字・ふりがな)

おくだ ゆかり
奥田 由佳理さん
(旧姓 大浦 おおaura)

- なれそめ 妻の姉の紹介
- 相手の呼び名 ゆかり
- 妻の得意料理 餃子
- 今後の抱負 夫：ふたり仲良く楽しい家庭を築いていきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひします。妻：これからも夫婦共々よろしくお願ひします。

Congratulation!



岩田 純一君
〈婚期日〉平成25年2月9日
〈式場〉アートグレイス
ウェディングヒルズ京都

お相手のお名前 (漢字・ふりがな)

いわた まき
岩田 真紀さん
(旧姓 佐曾利 さそり)

- なれそめ 京都での大学時代からお付き合いさせていただき、7年目の記念日に結婚式をあげました。
- 妻の得意料理 ハンバーグ、肉じゃが
- 今後の抱負 夫：慣れない土地で大変なこともあると思うけど、しっかり守っていきます！ 妻：新しい環境に早く慣れて、楽しい家庭を築いていきます。

西木田通信

平成24年1月1日(日)、私の初夢は野山を走り道なき道をただひたすら進むというものでした。4月に入り青年部担当になりました。その夢がまさに現実のものとなりました。総会の時に、初めて青年部の歌「伸びゆく大地」を皆さんが歌っているのを聞いた時、本当に感動で胸が熱くなり、地域の活性化・発展のために自分も力になりたいと思ったのを今でも鮮明に覚えています。また、社会人としての様々な面で経験の浅い私にとって、皆さんの日々の議論、発言、考え方、行動力はとても新鮮で、沢山のものを学ばせて頂きました。本当に貴重な体験をさせて頂き心から感謝しております。

話しは変わりますが、私は幼い頃から家が商売をしていた事もあり、基本的には放つたらかして自由に育つて参りました。そういうわけで様々な方々とお会い触れ合う機会が多く、好奇心旺盛な性格も相まって沢山の夢を持つようになりました。しかし、人生1度きり。その全てを叶えることは出来ません。なんとか実現出来る場所はないのかと考え、たどり着いたのが福井商工会議所でした。商工会議所には沢山の売人(経営者)が集まります。共に行動し汗をかき、活躍出来る土台を創りあげるのが商工会議所の使命だと思つています。そういう意味で、早く今より力をつけて皆さんの力になれるよう克己心を持って頑張りたいと思ひます。

なお、夢には続きがあります。次は比較的きれいに舗装された道が続いておりました。これが何を意味するのかは分かりませんが、「変える!」ではなく、「より良く」という発想で一生懸命頑張りたいと思ひます。今年1年間本当にありがとうございました。この御恩いつか必ず返します。

(平成24年度 事務局 伊藤 俊輔)